

大学・高専機能強化支援事業
(学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)【支援1】
事業概要

令和5年7月時点

1. 基本情報

選定年度	令和5年度	学校コード	F140210110607
大学名	北九州市立大学	設置区分	公立
学校種	大学	都道府県	福岡県
大学全体の総収容定員数	5,596名	※令和5年5月1日時点	
学部学科組織構成	外国語学部（英米学科、中国学科、国際関係学科）、経済学部（経済学科、経営情報学科）、文学部（比較文化学科、人間関係学科）、法学部（法律学科、政策科学科）、地域創生学群（地域創生学類）、国際環境工学部（エネルギー循環化学科、機械システム工学科、情報システム工学科、建築デザイン学科、環境生命工学科）		

2. 事業概要

AIなどの情報技術やデータサイエンスの知識・技能とともに、**脱炭素技術の開発やビジネス展開などの社会課題への対応能力や新しい価値の創造力**を備えた人材を育成するため、令和8年度に**情報イノベーション学部**（入学定員120名、収容定員480名）を開設予定である。カリキュラムは、仮説立案から課題解決に至る能力を養成するよう設計する。加えて、**数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（応用基礎レベル）**にも対応した体系的な教育プログラムとする。また、**企業等との連携によるPBLや起業経験を持つ実務家教員による実践的な科目**を展開する。**アントレプレナーシップの涵養、シビックプライドの醸成**にも取り組みつつ、AIをはじめ高度なIT技術の修得を目指す。また、多様な入学者の確保を図るため、**女子中高生の理系進路選択支援**などを活用する。社会課題に対応した研究活動などは**文系教員と協働できる体制**のもとで行う。こうした取組により、優れたデジタル人材を育成し、DXやオープンイノベーションの推進エンジンとして、地域の課題解決や発展に貢献する。

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和8年度
認可申請・届出予定	令和6年度
※既に申請・届出している場合はその年度を記入	
改組内容	学部の新設
設置等組織名	情報イノベーション学部 情報エンジニアリング学科、共創社会システム学科
設置等組織の学位分野	工学関係 社会学・社会福祉学関係
当該学部等の所在地	福岡県北九州市
入学定員	120名
収容定員	480名
入学定員の増加数	120名
他学部等の入学定員の減少数	120名

※学部・学科を新設する計画である場合は、当該学部等の所在地欄は予定所在地を記入。

※入学定員には編入学定員を含む。



【北九州市の現状と課題】

- ・生産年齢人口の減少
- ・低い労働生産性
- ・情報サービス従事者不足と低い地元定着

- ・情報技術による労働生産性の向上に基づく豊かな生活 (well-being) と知の創造(イノベーション)、人材の育成と地元定着が必要不可欠
- ・DXとオープンイノベーションの拠点形成

令和8年度 学部新設、入学定員120名、所在地 福岡県北九州市

情報イノベーション学部

データに基づく科学的視点、論理的思考、企業や地域問題の実践的解決

情報エンジニアリング学科

システムの仕様化と実装

共創社会システム学科

データ分析とデザイン思考



【学部新設の目的】

1. AI技術と社会変革に関する教育・研究
2. ステークホルダーとの連携とシビックプライドの醸成
3. アントレプレナーシップの涵養
4. データに基づく地域課題の解決

【人材育成の方針】

- ・AI等の高度なIT技術の修得
- ・社会課題への対応能力や新しい価値の創造力の育成

【実践的なカリキュラム】

- ・データサイエンスとエンジニアリングを融合した科目、PBL、インターンシップを通じた実践的学習強化
- ・仮説立案から解決実践までの能力を網羅的に養成するカリキュラム設計(焦点：数学科目、データ解析、社会課題解決)
- ・数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度(応用基礎レベル)に対応した体系的なカリキュラム

【多様な入学者の確保】

- ・数学能力評価による選抜や多様な入学者選抜
- ・JST女子中高生の理系進路選択支援プログラムの推進
- ・JSTスタートアップ・エコシステム形成支援事業の推進

【組織・施設・連携】

- ・高度情報化環境の整備と産業界との連携強化(新教育棟の整備と高度専門職人材採用)
- ・教育設備の充実(遠隔授業設備やアーカイビングシステム等)
- ・他機関と連携協力(北九州工業高等専門学校等)
- ・地元企業課題のコンサルティング機能の充実(文理融合の研究体制)

【産学協同の教育体制】

- ・データサイエンスやIoTの実践的科目開講(先端的製造業・情報サービス業・金融機関等との協同)
- ・実務家教員によるアントレプレナーシップ教育(スタートアップ経験を持つ教員)

【特徴ある科目】

グリーン・データサイエンスPBL科目群

- ・環境×AI・データサイエンスのチーム学習 (PBL)
- ・異分野融合・産学連携の教育体制



講義担当(理論)と演習担当(実務)の2名担当を基本